

目次

1. まえがき／笥 捷彦	1
2. 大学入試センター	3
3. 愛知教育大学	26
4. 大阪国際大学	43
5. 神奈川大学	72
6. 尚美学園大学	95
7. 聖心女子大学	103
8. 専修大学	109
9. 千葉経済大学	122
10. 筑波学院大学	139
11. 帝京大学	149
12. 東京情報大学	159
13. 東京農工大学	179
14. 明治大学（試作問題）	193
15. 和光大学	206
16. 資料1：国際情報科学コンテスト Bebras／中野 由章	217
17. 資料2：情報入試／村井 純	231
18. あとがき／久野 靖	251

あ と が き

教科「情報」については、その発足時点からさまざまな「？」マークがついてきた。その中から重要なものをあえて3つ選ぶとすれば、第1は教科内容面でも授業実体面でも情報技術・情報科学の原理に関する内容が重視されてこなかったという点、第2は発足時の経緯や学校の体制から十分な専門性を持たない「情報」教員が授業を担当している場合も少なくないという点、そして第3は世の中全体の教科「情報」に対する(ソフトの使い方の教科であるとの)誤解とその結果としての教育現場全体における「情報」軽視、であると思う。

とくに3番目については、この教科の具体的な評価のあり方があまり議論されておらず、世の中における共通の認識も得られていないことが大きな原因の1つだといえる。たとえば数学や国語などの教科であれば、大学入試センター試験の問題が主要紙に掲載され、それを見ればどのような内容が高校まで学んで来た生徒の到達すべきレベルなのかがすぐに分かる。しかし「情報」については、到底そのような状態にないし、唯一「情報」と関連の深い出題科目であった「情報関係基礎」も大学入試センターによって見直しが行われる始末であった。

情報入試フォーラム2012はこのような状況を受けて、過去に情報入試を実施した大学関係者を中心として開催された。その目的は、関係者が一堂に会してこの問題の重要性を確認するとともに、これから一致協力して標準的な「情報」入試の水準・内容を確認して行く出発点となることだった。

本資料集もその一環として、これまで各個人がばらばらに収集するだけでまとまった記録の無かった各大学の「情報」入試の内容について、ともかくも現時点で入手できる過去問題を集め、今後の検討の土台とすることを目指して編纂された。これが将来に向けてのマイルストーンとなることを切に願っている。

最後に、本資料集の作成に当たって協力を頂いた皆様、とりわけ過去問題を快く提供下さった各大学・大学入試センター、および原稿収集・編集作業に尽力された中野由章先生(大阪電気通信大学)、辰己丈夫先生(東京農工大学)に感謝します。

久野 靖
筑波大学大学院